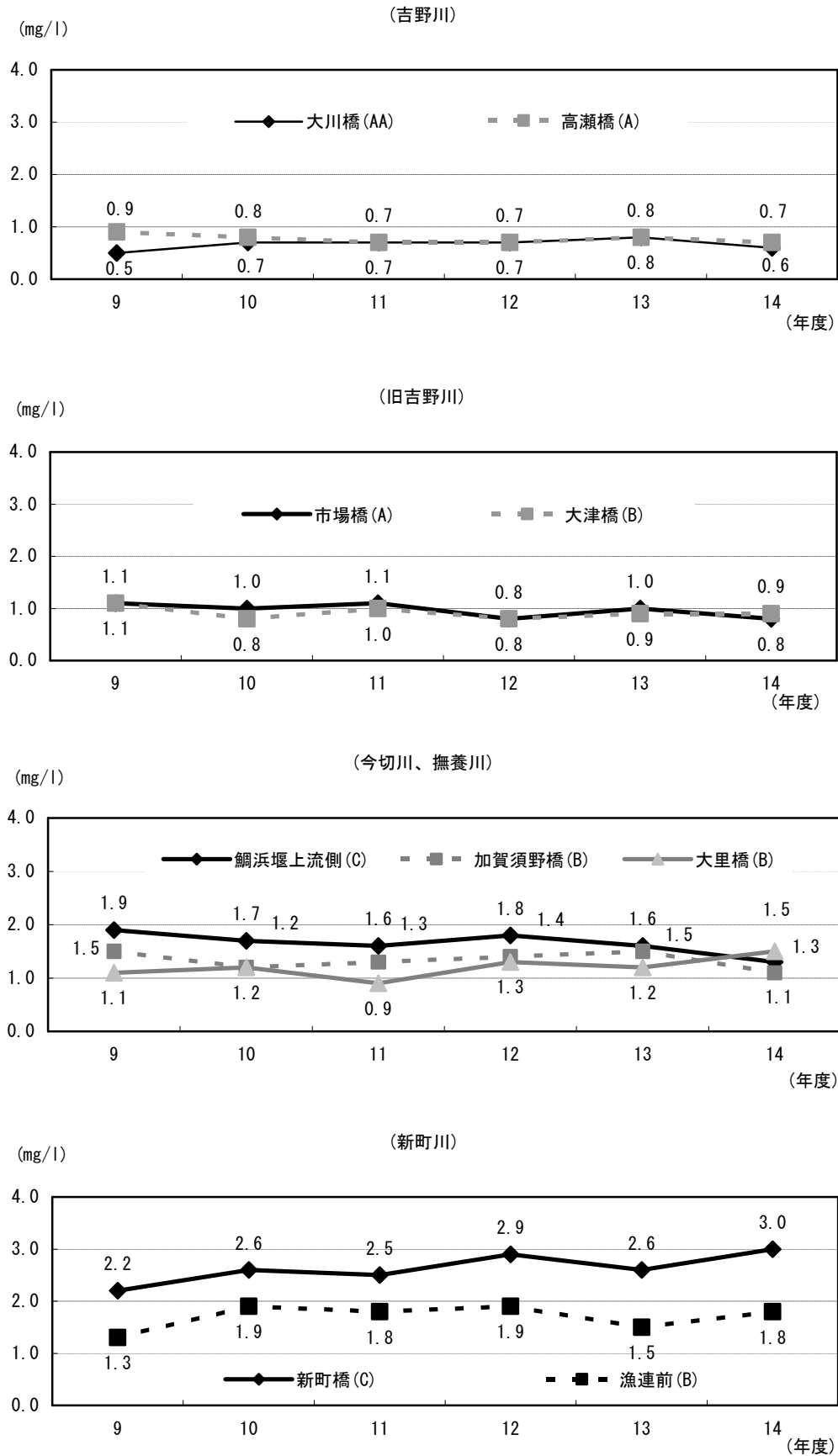


図2-2-13 BOD平均値の経年変化（吉野川水系）



b 勝浦川及び神田瀬川

勝浦川は、幹線流路延長49.6km、流域面積224km²と本県の2級河川の中で最も大きな河川です。流域人口は約5万1千人で、工場等の汚濁源は少なく、農業用水、上水道等の利水が広く行われています。平成14年度の測定結果ではBOD75%値は、上流の福原大橋<0.5mg/l、下流の飯谷橋0.5mg/lであり、良好な水質を保っています。

神田瀬川は、小松島市の市街地を流れる自流の少ない感潮河川であり、生活排水の負荷が大きい河川であります。平成14年度の測定結果ではBOD75%値は3.7mg/lであり、環境基準は達成されています。(図2-2-14、表2-2-38、図2-2-15)

図2-2-14 勝浦川及び神田瀬川環境基準点

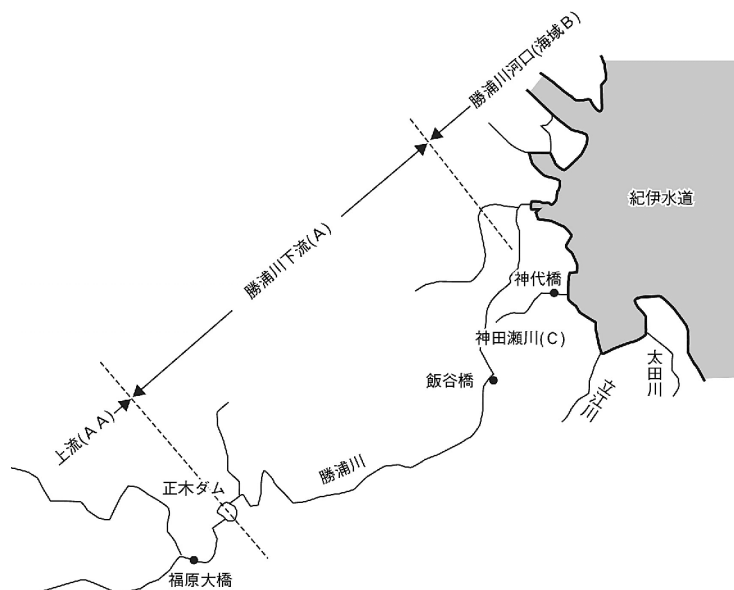


表2-2-38 勝浦川及び神田瀬川の測定結果 (平成14年度)

水域名 (河川名等)	地点名	類型	pH	DO	BOD		SS	大腸菌群数
			最小～最大	平均	平均	75%値	平均	平均
勝浦川(上流)	福原大橋	AA	7.5～8.4	11	<0.5	<0.5	2	2.1e4
勝浦川(下流)	飯谷橋	A	7.7～9.2	10	0.6	0.5	2	7.5e3
神田瀬川	神代橋	C	6.7～7.4	6.7	2.6	3.7	4	1.3e5

図2-2-15 BOD年平均値の経年変化 (勝浦川及び神田瀬川)

